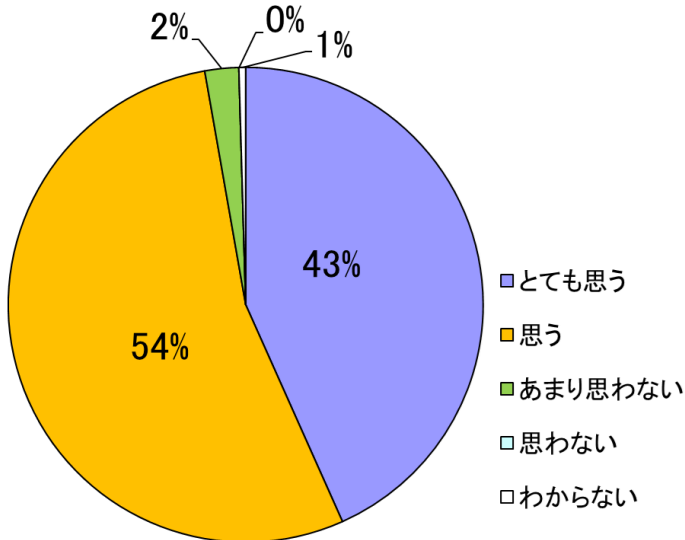


1. お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |      |
|-------|-----|-----|------|
| とても思う | 43% | 97% | stay |
| 思う    | 54% |     |      |

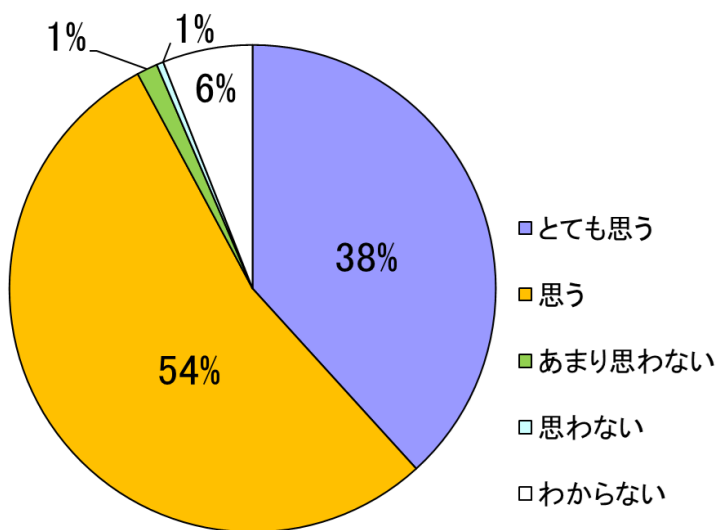
【令和6年度】

|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| とても思う | 47% | 97% |
| 思う    | 50% |     |

「とても思う」「思う」の回答は全体の97%で、1昨年度と同じ割合となりました。児童へのアンケート「学校は楽しいですか」の質問においても、低学年、高学年共に90%以上の児童が「楽しい」と回答しています。

児童にとって学校が「安心・安全」で「楽しい場所」であることは、学校運営上、一番大切にしていきたいところです。児童が友達や教職員とかかわったり、学習で目標を達成したり、あるいは行事で自分の役割を果たしたりする中で、「楽しい」と感じる場面がたくさんあると思います。そういった場面をより増やすことができるように、学級や学年、さらには学校全体で教育活動を工夫・計画・実践していきます。

2. 一人一人の思いや考えを大切にされた学年・学級経営がされていると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |      |
|-------|-----|-----|------|
| とても思う | 38% | 92% | stay |
| 思う    | 54% |     |      |

【令和6年度】

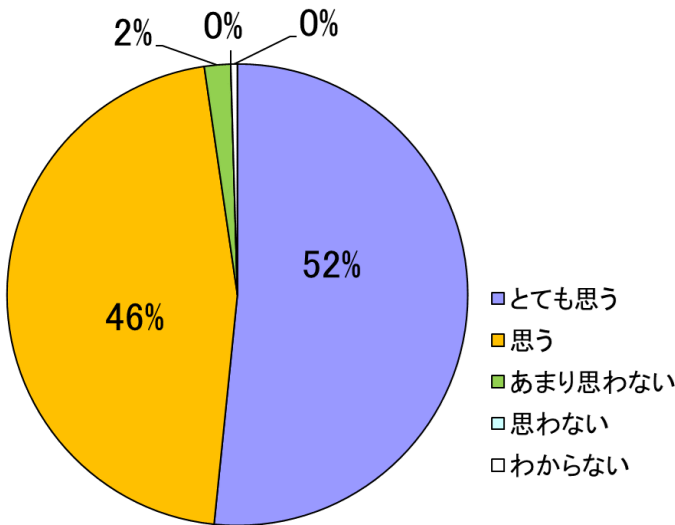
|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| とても思う | 33% | 92% |
| 思う    | 59% |     |

「とても思う」「思う」の回答は全体の92%で、昨年度と同じ割合となりました。引き続き90%以上の方々に肯定的な回答をいただきました。

「自己肯定感を高める」という教育理念を継続して掲げ、児童が自分の思いを実現できるように、さまざまな場面で支援しています。また、児童の主体性を尊重し、児童自身が「やりたい」と思ったことを実践できるようにしながらも、児童が迷った時には支援するように努めています。

今後も、児童が自分の思いをさまざまな場面で表現・発信し、実現できるように、教職員一同で支援していきます。

3、学年の活動や運動会など、学校全体の教育活動は、児童にとって生き生きと活躍できる場になっていると思いますか。



【令和7年度】

とても思う 52% } 98%  
 思う 46% } 1% up

【令和6年度】

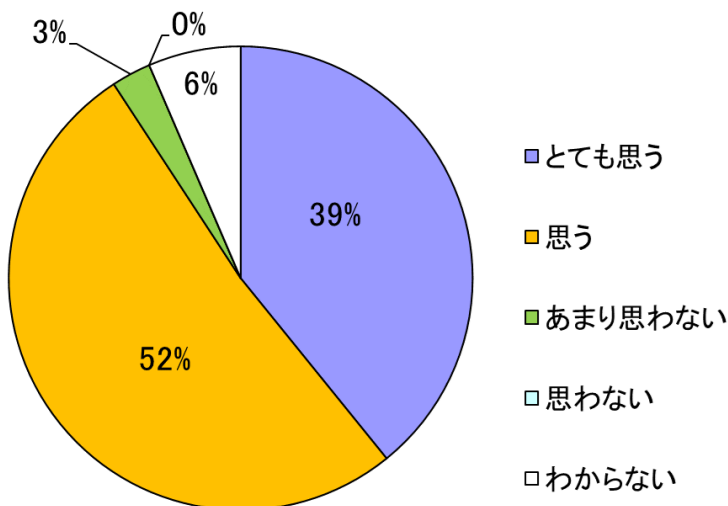
とても思う 54% } 97%  
 思う 43% }

「とても思う」「思う」の回答は全体の98%で、昨年度より1%増加しました。とても多くの保護者の方々に「生き生きと活躍できている」と回答していただいています。

本校では、行事や学年の活動ごとに実行委員制度を設けています。児童一人一人が役割をもち、主体的に取り組むことができるように指導・支援を行っています。低学年においても、担任の支援の下で学年全体を引っ張る経験を積むことで、達成感を味わうことができるようにしています。そしてこの経験をもとに、学年が上がるごとに児童が自分たちで考える場面を増やし、より主体的に行事等を進めていく機会を設けることで、一人一人が生き生きと活躍することができるように努めています。

今後もさまざまな行事や活動の中で、児童が自分の思いをもち、それを表現していくことができるように支援していきます。

4、係活動や当番活動、実行委員活動などを通して、主体性や責任感、満足感を得られるように指導していると思いますか。



【令和7年度】

とても思う 39% } 91%  
 思う 52% } 2% down

【令和6年度】

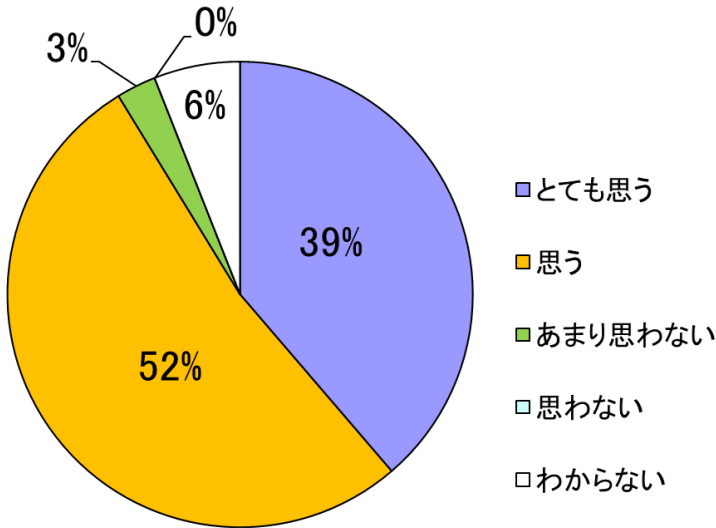
とても思う 41% } 93%  
 思う 52% }

「とても思う」「思う」の回答は全体の91%で、昨年度より2%減少しましたが、引き続き多くの保護者の方々に「主体性や責任感、満足感を得られるような指導をしている」と回答していただいています。

前項目で記した実行委員制度では、学校全体や学年での行事等における取り組みのひとつですが、学級単位でも、係活動や当番活動などを通して児童が主体的に取り組むことで達成感や満足感を得られるように努めています。また、児童が「やりたい」と思ったことを自分たちで進めていく中で、最後までやり抜くように指導・支援することで、責任感も育むことができるように努めています。

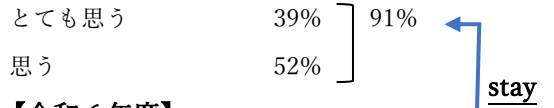
さまざまな活動を通して、児童が友達とかかわり合いながら成長していくことができるように、今後も指導・支援をしていきます。

5. 児童が体を動かす楽しさや、友達と共に活動する喜びを味わえるような指導をしていると思いますか。



- とても思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない
- わからない

【令和7年度】



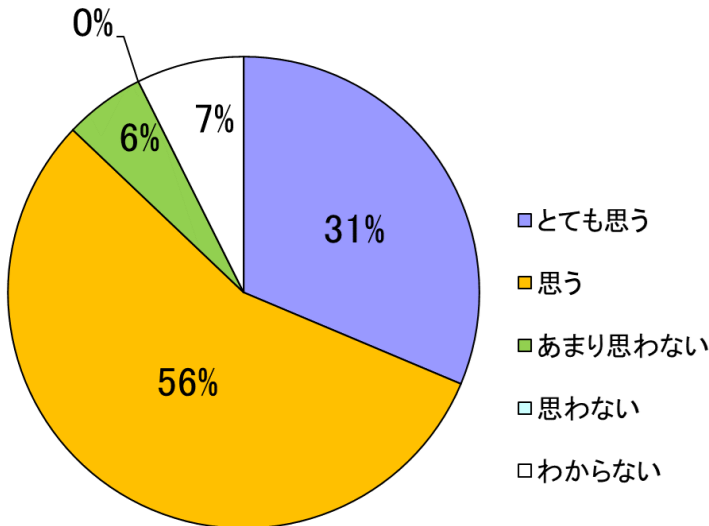
【令和6年度】



「とても思う」「思う」の回答は全体の91%で、昨年度と同じ割合となりました。引き続き多くの保護者の方々に肯定的な回答をいただいています。

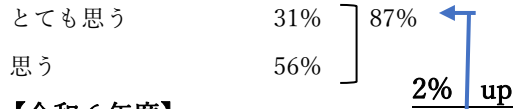
体育学習は、児童の好き・嫌い、得意・不得意が分かれやすい教科と言えます。どの児童の体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるように、体育担当の教員を中心に各学年で日々教材研究を行っております。中休みの外遊びについては、隔日で学年ごとに使用可能日を割り振っていますが、「遊べる機会を増やしてほしい」といったご意見もいただいております。児童数増加に伴う安全面の確保や、夏の暑さ対策など、諸々の課題があります。児童の安全を最優先とした上で、運動することをより楽しむことができる体系づくりや環境整備を進めていきます。

6. 児童が元気に挨拶できるような指導をしていると思いますか。



- とても思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない
- わからない

【令和7年度】



【令和6年度】

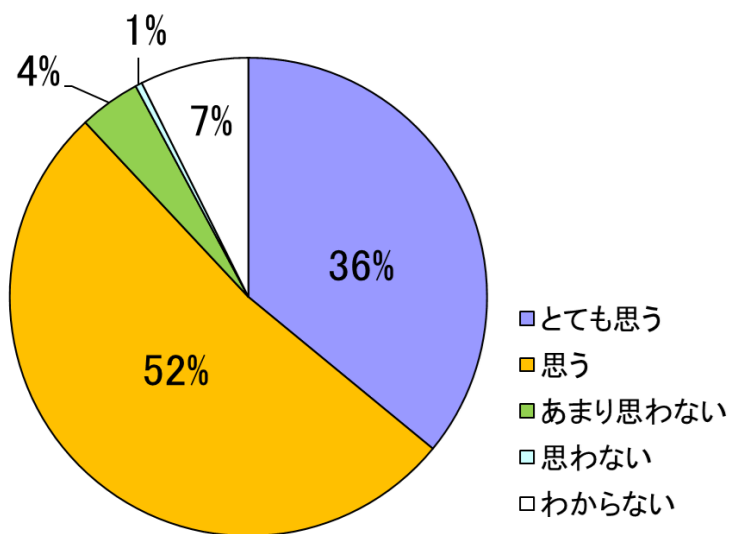


「とても思う」「思う」の回答は全体の87%で、昨年度から2%増加しました。

朝登校してきた児童に挨拶をすると、「おはようございます」と元気よく返すことができる児童がたくさんいます。また、日中も校内で教職員に「こんにちは」と自分から挨拶をすることができる児童もいます。特に高学年においては、進んで挨拶ができる児童が多く、低学年のよい手本となっています。学校では、挨拶の大切さや意義について、日頃からさまざまな場面で児童に伝えています。また、教職員が手本となることができるように、積極的に児童へ挨拶をしたり、挨拶ができる児童に対して価値づけ（「いい挨拶だね」「挨拶できてえらいね」など）をしたりするように努めています。

今後も、児童支援チームを中心に、児童が進んで挨拶することができるような指導・支援と雰囲気づくりに努めていきます。

7. 日常の教育活動を通して、児童の実態を把握し、児童理解に努めていると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |   |
|-------|-----|-----|---|
| とても思う | 36% | 88% | ↑ |
| 思う    | 52% |     |   |

【令和6年度】

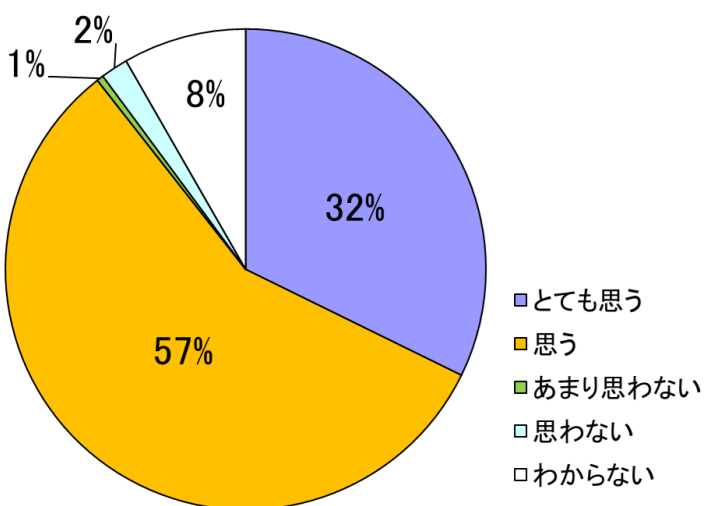
|       |     |     |   |
|-------|-----|-----|---|
| とても思う | 32% | 88% | ↑ |
| 思う    | 56% |     |   |

「とても思う」「思う」の回答は全体の88%で、昨年度と同じ割合となりました。

各クラスにおいて、担任が児童一人一人の様子を注意深く観察し、少しの変化にも気付くことができるように努めています。また、変化に気付いたり、普段と違う様子が見られたりした場合は、すぐに対象児童に声をかけたり、場合によっては周囲の児童に話を聞いたりするなど、瞬発的に対応することができるように心がけています。さらに、さまざまな情報を学年全体で共有し、必要に応じて支援教育コーディネーターや管理職にも報告するように、情報共有の体系づくりに努めています。

ご家庭におかれましても、お子さんの心配なことや気になることなどがありましたら、いつでも学校にご連絡ください。ご家庭とも連携して、児童がより安心して学校生活を送ることができるように努めていきます。

8. 豊かな心を育てるために、積極的に道徳教育や共生共育、人権尊重教育に取り組んでいると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |   |
|-------|-----|-----|---|
| とても思う | 32% | 89% | ↑ |
| 思う    | 57% |     |   |

【令和6年度】

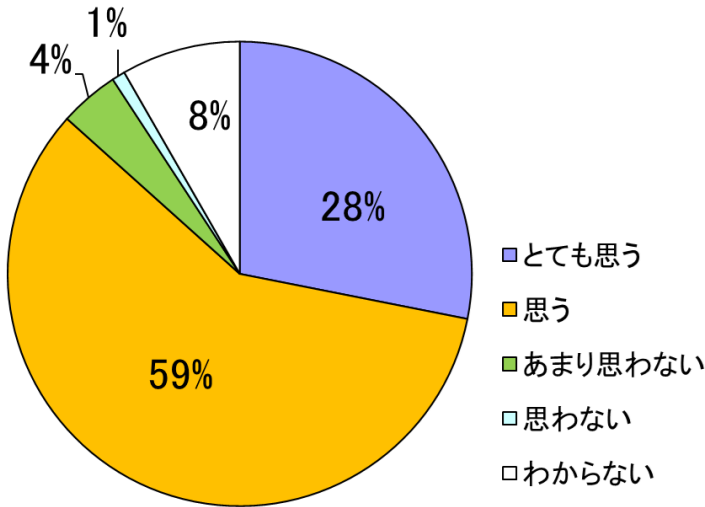
|       |     |     |   |
|-------|-----|-----|---|
| とても思う | 29% | 88% | ↑ |
| 思う    | 59% |     |   |

「とても思う」「思う」の回答は全体の88%で、昨年度より1%増加しました。

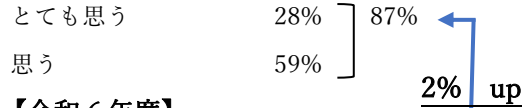
本校では、道徳教育担当教員が積極的に授業を公開したり、各学年の資料を配布したりして、道徳教育の推進を図っています。また、「共生\*共育プログラム」を活用し、他者と積極的にかかわったり、自分自身を見つめたりする機会を設けています。さらに、「川崎市子どもの権利に関する条例」についても触れ、自分や周りには守られるべき権利があることを、各学年の発達段階に応じて活用するようにしています。

今後も、児童一人一人が安心して学校生活を送ることができるように、児童支援チームや道徳教育委員会が連携して、取り組みの充実を図っていきます。

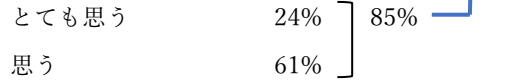
9. 児童が約束を守って生活するような指導がされていると思いますか。



【令和7年度】



【令和6年度】

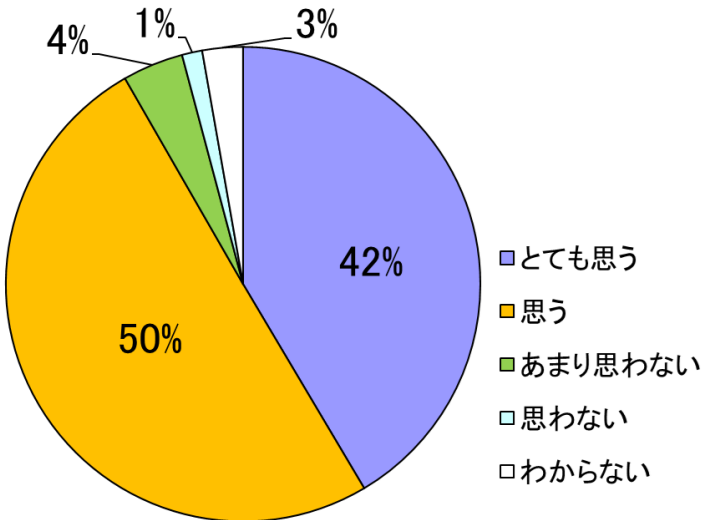


「とても思う」「思う」の回答は全体の87%で、昨年度より2%増加しました。

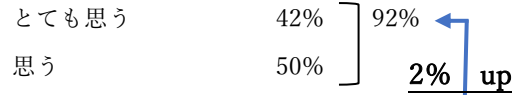
本校では、「柿生小の約束」として、学校生活のさまざまな場面における約束事を設定しています。児童相互がこれをもとに約束事を確認し、みんなが気持ちよく、安心して、安全な学校生活を送ることができるように指導しています。また、児童間だけでなく、教職員簡易置いても共通理解を図って、統一した指導ができるようにしています。児童には、ただ単に約束を守ることを強制するのではなく「守るとどんな良いことがあるか」「もし約束がなかったらどうなるか」など、児童自身が約束の必要性について考え、守る必要があることを理解することができるように指導の工夫を図っています。

保護者の皆様にもご理解とご協力をいただきたく、年度初めに「柿生小の約束」を配布しています。ご家庭でもぜひ、約束を守ることの大切さについてお子さんとお話いただければ幸いです。

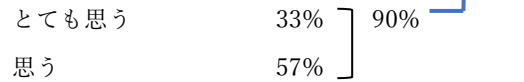
10. 学校の教職員は、お子さんについて困った時に相談できると思いますか。



【令和7年度】



【令和6年度】

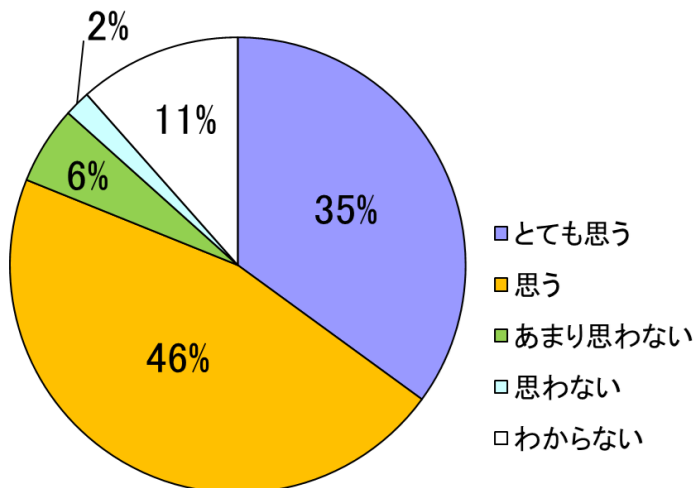


「とても思う」「思う」の回答は全体の92%で、昨年度より2%増加しました。引き続き多くの保護者の方々に肯定的な回答をいただいています。

悩み事や困り事はないに越したことはありませんが、学校という集団生活の中では、友達同士の気持ちのすれ違いや、自分が思っている事とは違うことが起きてしまい、思い悩むこともあります。そういった時に、児童のちょっとした変化に気付くことができるように、各担任は積極的に児童に声をかけ、一人一人の様子を把握するように努めています。また、そうなる前の予兆の段階から変化に気付くことができるように、担任だけでなく学年全体で各クラスの状態を把握することができるように、日頃から情報交換をするようにしています。さらに、児童支援コーディネーターや管理職とも連携を図り、担任や学年だけでなく、学校全体として対応することができるような体制づくりに努めています。

ご家庭でお子さんに何かご心配な様子がありましたら、学校へご連絡くださいますようお願いいたします。

11. 児童が悩みを抱えていたり、児童同士で問題が起きたりした時に、解決に向けて積極的に対応できていると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |       |
|-------|-----|-----|-------|
| とても思う | 35% | 81% | ←     |
| 思う    | 46% |     |       |
|       |     |     | 1% up |

【令和6年度】

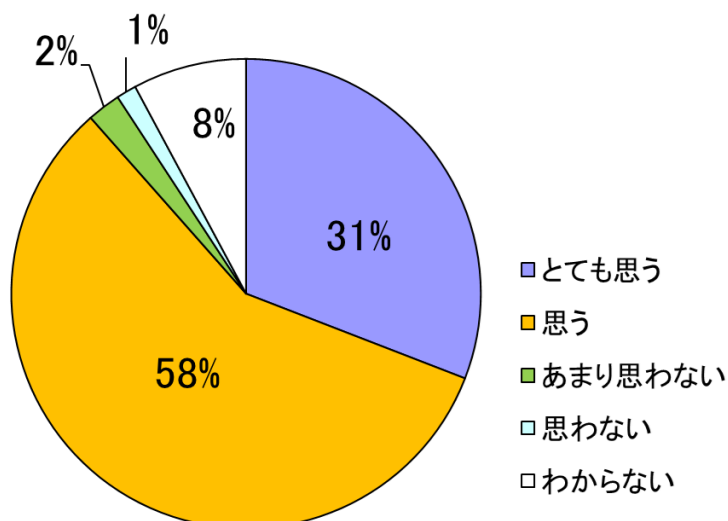
|       |     |     |   |
|-------|-----|-----|---|
| とても思う | 28% | 80% | ← |
| 思う    | 52% |     |   |

「とても思う」「思う」の回答は全体の81%で、昨年度より1%増加しました。「わからない」と回答された方も、昨年度の15%から11%に減少し、学校の取り組みを知っていただくことができつつあるのではないかと思います。引き続き、保護者の皆様にご理解いただけるように改善していきます。

児童指導においては、前項でも記したとおり、より早く事態を把握し、担任だけでなくより多くの教職員で対応していくことが重要です。より多くの目で児童を見守り、解決に向けて学校全体で取り組んでいくことができるように、今後もその体制を整えていくことに尽力していきます。

保護者の皆様にも、ご家庭でお子さんについて気になる様子が見られた際には学校にご連絡いただき、解決に向けてご協力いただきますようお願いいたします。

12. 学力の基礎基本の定着を図るために、児童が楽しく積極的に学習に取り組める授業をしていると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |       |
|-------|-----|-----|-------|
| とても思う | 31% | 89% | ←     |
| 思う    | 58% |     |       |
|       |     |     | 1% up |

【令和6年度】

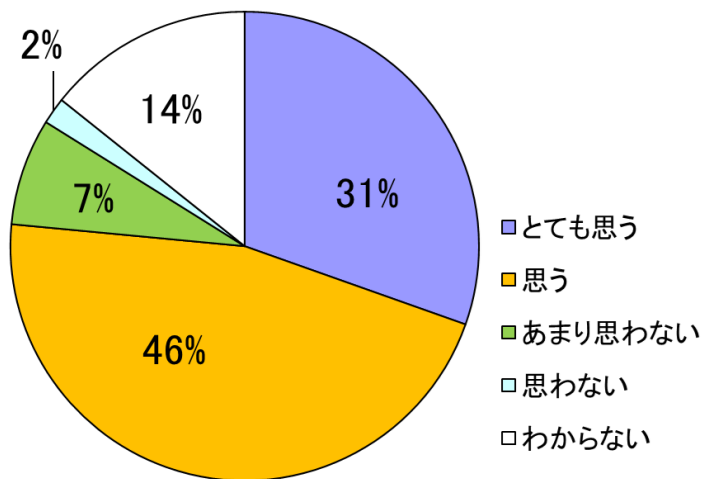
|       |     |     |   |
|-------|-----|-----|---|
| とても思う | 27% | 88% | ← |
| 思う    | 61% |     |   |

「とても思う」「思う」の回答は全体の89%で、昨年度より1%増加しました。

今年度の校内研究では、「日常に生きる課題解決学習」というテーマのもと、7つの教科等において授業研究を進めてきました。共通して学習の軸としているのが「課題解決学習」です。児童が自ら課題を設定し、その解決に向けてさまざまな方法を選択して学習を進めていきます。友達と意見を交換したり、自分で調べたりする中で、自分とは異なる考え方に触れたり、新しいことを知ったりして、学ぶことの楽しさを味わうことができるような学習計画を模索してきました。

今後も、児童が主体的に学習に取り組み、疑問や課題を解決したり、できることが増えていく中で、学ぶことが楽しいと感じられる学習展開の工夫に取り組んでいきます。

13. 個に応じたきめ細かな支援が行われていると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |       |
|-------|-----|-----|-------|
| とても思う | 31% | 77% | ↑     |
| 思う    | 46% |     |       |
|       |     |     | 1% up |

【令和6年度】

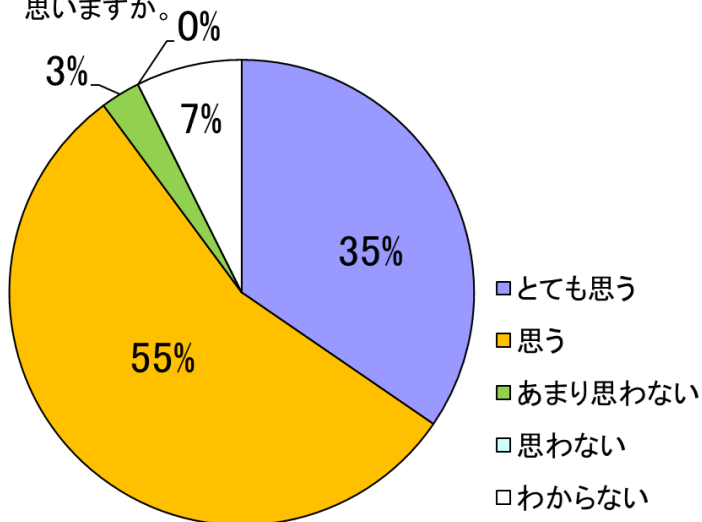
|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| とても思う | 25% | 76% |
| 思う    | 51% |     |

「とても思う」「思う」の回答は全体の77%で、昨年度より1%増加しました。しかし、「わからない」と回答された方が14%で、学校での取り組みが保護者の皆様に伝わっていないことも課題の一つとなります。

学習面においては、児童の理解度に応じて個別指導を行ったり、学年や教科によっては少人数指導を行ったりしています。生活面においては、項目7の児童理解でも記したとおり、担任だけでなく学年全体や児童支援コーディネーター、場合によっては学校全体での連携を密に取るようにして、児童一人一人を支援していくことができる体系づくりに努めています。

今後も児童一人一人に寄り添った指導・支援をしていくために、学校全体として体制を整えていきます。

14. ボランティアやゲストティーチャーなどの人材を生かしたり、体験活動を行ったりするなど、教育活動を工夫していると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |     |       |
|-------|-----|-----|-------|
| とても思う | 35% | 90% | ↑     |
| 思う    | 55% |     |       |
|       |     |     | 6% up |

【令和6年度】

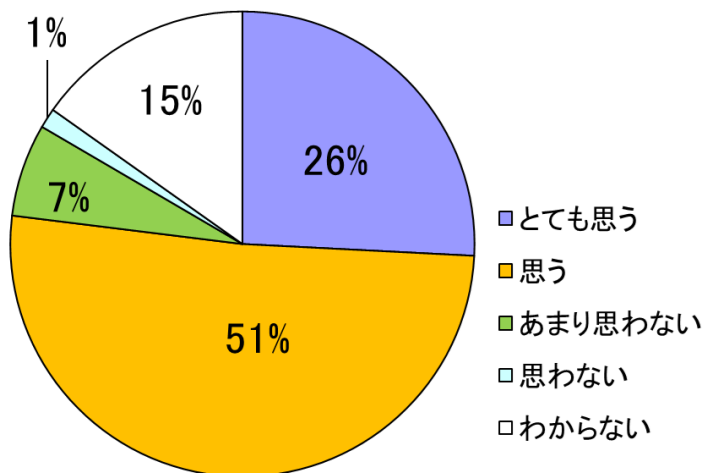
|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| とても思う | 29% | 84% |
| 思う    | 55% |     |

「とても思う」「思う」の回答は全体の84%で、昨年度より6%増加しました。また、「わからない」と回答された方が7%で、昨年度より5%減少しました。学校での取り組みが少しずつ伝わっているのではないかと思います。

今年度も、各学年においてさまざまな体験学習を取り入れてきました。また、多くのゲストティーチャーをお招きし、お話をうかがったり、体験的な活動を実施していただいたりしました。実際に体験したり、その道のプロからお話をうかがったりすることで、興味をもったり「もっと知りたい」などと意欲をもったりして、学びを深める児童の様子をたくさん見ることができました。

今後もこのような活動は多く取り入れていきたいと思っています。保護者の皆様にご協力をいただく場面も多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

15. 「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子の育成」という教育理念のもと、一人一人の個性に合わせた教育活動をしていると思いますか。



【令和7年度】

|       |     |         |   |
|-------|-----|---------|---|
| とても思う | 26% | 77%     | ← |
| 思う    | 51% |         |   |
|       |     | 2% down |   |

【令和6年度】

|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| とても思う | 26% | 79% |
| 思う    | 53% |     |

「とても思う」「思う」の回答は全体の77%で、昨年度より2%減少してしまいました。また、「わからない」と回答された方が15%で、この項目についても学校での取り組みが保護者の皆様に伝わっていないことが課題の一つとなります。

今年度も、学校教育理念に「自己肯定感を高める」ことを掲げ、児童の思いや願いを実現することができるような指導・支援の工夫を模索してきました。さまざまな場面において、児童の「やってみたい」という思いを大切にし、その実現のために教師が行うべき指導・支援の在り方を検討してきました。また、学校全体として「褒める」ことを基本とし、児童のちょっとした成長にも肯定的な言葉をかけるように努めています。さらに、児童一人一人の声にできる限り傾聴し、その児童がより安心して学校生活を送れるように、多くの目で見守ることができるような体制づくりに努めています。

今後も、児童相互がお互いのよいところを認め合い、自分自身の個性を認め、自分を「好き」と言えるように支援していきます。